



表紙の説明 & 作者高校生紹介

表紙作者紹介



▲写真部部長の岸野航河(きしのこうが)さん

星陵高校写真部では、自身の撮影技術向上を目指し日々活動に励んでいます。今回はドローンの技術を楽しみながら共に学んでいくことをイメージして撮影しました。星陵では、ドローンの操縦を体験したり、実際にドローンで撮影をして配信したりしています。

題字「笑顔のために」作者紹介



▲書道部の芹澤咲希(せりざわさき)さん

この「笑顔」から秋の訪れを感じられるよう、全体的に柔らかい雰囲気を意識して書きました。

今回号の表紙は、星陵高校生徒さんに作成していただきました。次号(12/1発行)は富士特別支援学校富士宮分校の生徒さんが作成してくれます。乞うご期待ください!!

校風紹介(学校紹介)

星陵高校には、普通科、英数科(英数コース、総合コース、中高一貫コース)とそれぞれ魅力ある科(コース)があります。特徴ある科(コース)の中で生徒たちは育ち、それぞれの希望や特性に応じた進路へ歩んでいきます。星陵生は、校訓「誠友敵(誠実な心で事にあたる・友情の和を広げる・敵しさを自ら求める)のもと、切磋琢磨して学校生活を送っています。

また、毎年開催される星陵祭も魅力の1つです。今年は、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代を恐れず歩み、生まれ変わる(羽化する)という想いを込め、歩羽化(VUCA)というテーマのもと、星陵祭を開催しました。

議会に一言

星陵高校では、探究学習を盛んに行っています。その一環として、アントレプレナーシップ(起業家精神)の育成やSDGsの達成に目を向け、問題解決につながるようなビジネスプランを考えています。

今年度の星陵祭で私のクラスでは、人口減少をテーマに考えました。富士宮市では人口減少対策も含め「町おこし」について、どのような政策を行っているのか、お伺いできる機会がありましたら幸いです。



▲星陵高校 生徒会の生徒さん

議会に一言へのお返事と編集後記

市では、少子高齢化や若者の流出により、産業や地域コミュニティの担い手不足が課題となってきました。これらを解決する手段のひとつとして、市内外の学生、社会人、移住希望者等をターゲットに、若者のアイデアの実践、起業などのチャレンジを支援する「エキマエ Challenge house CHILL IN(チリン)」が8月に開設されました。

若者の斬新なアイデアで富士宮を活性化させましょう!

—— 仲亀 恭平 委員 ——



笑顔のために

NO.435 令和6年9月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248
E-mail c-jimmu@city.fujinomiya.lg.jp